

# 町の次代を担う若者たちの 成人式



木村あかねさん  
(梅ヶ枝町)

「現在、県内の歯科専門学校に通っています。歯科衛生士の資格を早く取って親孝行したいです。」



村山 来さん  
(西小路)

「現在、東京の大学で勉強していますが、将来は山形に戻って、警察官になりたいです。」



日野 絢菜さん  
(あおば)

「現在、学生をしています。管理栄養士の資格を取るために毎日がんばっています。」



寺田 一貴さん  
(西小路)

「青森山田高校で甲子園に出場した経験を生かし、何らかの形で野球に携われるような社会人になりたいです。」



笹原 麻里さん  
(梅ヶ枝町)

「現在、カリフォルニアの短大に留学中。英語をはじめ、中国語、韓国語などを話せます。将来はそれらの語学を生かし航空関係の会社に就職したいです。」



鈴木 一貴さん  
(元町)

「現在、静岡の大学で国際関係の勉強をしています。大学で学んだことを生かせるようなところに就職したいです。」

た新成人たちは、なつかしい友人や恩師と再会。成人としての自覚を新たに、未来へ踏み出す記念すべき一日となりました。

8月15日、平成25年度成人式が中央公民館で開催されました。今年成人を迎えたのは平成4年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた男66名、女82名、計148名です。

式典では、大津町長が「皆さんを今日まで育ててくれた両親や家族、地域に感謝をしてください。また、生まれ育った中山町に誇りを持ち、消防団活動やボランティア活動をはじめ、地域や町の行事などに積極的に参加して、町の発展に大いに活躍してください」と激励。来賓の恩師の先生からもお祝いの言葉をいただきました。

また、新成人を代表して若林信さん(下川)があいさつ。「新成人となり、選挙権や飲酒喫煙の自由など、さまざまな権利が与えられますが、これからは自分でそれらを選び、自分で責任を負わなければいけません。今日の成人式をきっかけに大人になるということをあらためて考えて見ましょう」と新成人に呼びかけました。

式典後は中山玄蕃太鼓振興会の皆さんによる太鼓演奏や新成人有志主催の同窓会も開催され、華やかなドレスやスーツを身にまとった



会田 理栄さん  
(いずみ)

「薬局の仕事もだいぶ慣れてきました。仕事をますます充実させて、将来は幸せな家庭を築けたらいいです。」



浦山 純平さん  
(下川)

「責任ある行動を心がけたいです。町のサッカー少スポでコーチとして子どもたちを育てていきたいです。」



鈴木 里穂さん  
(新町)

「現在、学生をしています。夢の歯科衛生士の資格を取るために毎日がんばっています。」



新成人代表のあいさつ  
若林 信さん  
(下川)



## 戦没者追悼式

8月30日、町の戦没者四百六十余名の英霊を悼み、世界の恒久平和を祈念する中山町戦没者追悼式が中央公民館で行われ、遺族や来賓などが参列しました。

式では英霊の冥福を祈り、黙とうが捧げられ、大津町長が「今日、私達が享受する平和と繁栄は先の大戦において心ならずも命を落とされた方々の犠牲の上に築かれていることを謙虚に受け止め、歴史に学び、私たち一人ひとりが人類社会の恒久平和のために努力していかねばなりません」と式辞を述べました。

式の最後には参列者全員が白菊を捧げて手を合わせ、戦没者の冥福を祈りました。

終戦から68年が過ぎましたが、戦争という悲惨な歴史を繰り返すことのないよう、平和への思いを新たにしました。